

Markdown

Markdownは、プレーンテキストで書ける軽量なマークアップ言語です。書いたテキストは、HTMLなどに簡単に変換できます。BookStackでもMarkdownを使ってページのコンテンツを記述できます。

基本的なMarkdown記法:

1. 見出し:

- # 見出し1
- ## 見出し2
- ### 見出し3
- ...のように、# の数で見出しのレベルが変わります。
- 見出しは1~6まであり#の数で変わります

見出し1

見出し2

見出し3

見出し4

✓ 見出し5

見出し6

他のページで同じマークダウンを表示すると、CSS (デザイン) が違うので見出しのサイズや、装飾が同じにはなりません。でんこの知識の杜のBookstackでは、上のようなデザインになっています。本ページでは、見出しの大きさはそんなに変わりませんが、装飾が変化するようにデザインを決めています。何も装飾をつけたくないときは「見出し4」を使いましょう。

2. テキストの装飾:

- **太字:** `**太字**` または `__太字__` で囲みます。
- *斜体:* `*斜体*` または `_斜体_` で囲みます。
- ~~取り消し線:~~ `~~取り消し線~~` で囲みます。

3. リスト:

- 箇条書き (順不同リスト):
Markdown

```
- 項目1
- 項目2
* 別の項目
+ さらに別の項目
```

このように、行頭に `-`, `*`, `+` のいずれかを置きます。

- 番号付きリスト (順序付きリスト):
Markdown

```
1. 最初の項目
2. 次の項目
3. 最後の項目
```

行頭に `数字` を置きます。

4. リンク:

Markdown

```
[表示するテキスト](URL)
```

例: [BookStackの公式サイト](https://www.bookstackapp.com/)

5. 画像:

Markdown

```
![代替テキスト](画像のURL)
```

例: ![BookStackのロゴ](https://www.bookstackapp.com/img/logo.svg) (代替テキストは、画像が表示されない場合に示される説明です)

6. 引用:

Markdown

```
> これは引用です。  
> 複数行にわたる引用も可能です。
```

行頭に `>` を置きます。

7. コードブロック:

- **インラインコード:** バッククォート1つ (```) で囲みます。例: `print("Hello")`
- **ブロックコード:** バッククォート3つ (`````) で囲みます。言語を指定することもできます。

Markdown

```
```python  
def hello():
 print("Hello, world!")

hello()
```

#### 8. 水平線:

Markdown

```



```

上記のいずれかを3つ以上連続して書くと、水平線が表示されます。

---

### BookStackでのMarkdownプレビュー:

BookStackのMarkdownエディタには、記述した内容をプレビュー表示する機能があることが多いです。編集画面の近くに「プレビュー」タブやボタンがあるはずなので、それをクリックすると、Markdownで書いた内容がどのように表示されるかを確認できます。

---

### 実際に試してみましょう:

BookStackの編集画面で、上記のMarkdown記法をいくつか試してみてください。例えば、見出しを作ったり、リストを作ったり、リンクを挿入したりしてみましょう。そして、プレビューでどのように表示されるか確認してみてください。

---

🔄Revision #2

★Created 14 May 2025 03:03:28 by youe2

🔧Updated 17 June 2026 00:53:57 by youe2